



## 荒井選手 (CMSC 群馬) オールスターダートラ制す!! ランサーエボリューション、の高い戦闘力を実証。 '92全日本ダートトライアル選手権最終戦 (AIVクラス)

'92全日本ダートトライアル選手権の第8戦、AIVクラスに、三菱のモータースポーツ分野での主力車種と注目される「三菱ランサーSRエボリューション」5台がデビューしました。WRC(世界ラリー選手権)参戦を照準に「走る・曲がる・止まる」という車本来の機能を純粋に進化させた、高性能スポーツセダンというだけあって、強力な加速力など「ラリーに勝つための車」としての底力を見せつけてくれた「ランサーSRエボリューション」。その250PSを誇るハイパワーと、スパルインプレッサ240PSとの対決が注

目されていましたが、CMSC群馬の荒井信介選手が、ランサーエボリューションを駆って見事優勝の栄冠を勝ち取りました。

今回の大会は、「オールスター」の名の通り、ダートラ界のスタードライバー達が年に一度勢揃いして腕を競い合う「ダートラ日本一決定戦」。出場選手は全日本選手権シリーズの各クラス上位8名と、全国8ブロックの地区選手権の各クラス上位2名のみで「選ばれし者達の祭典」と言われています。そういう大会でデビュー戦を飾ったことで、「ランサーエボ

リューション強し!」という印象が、より鮮烈にギャラリーの胸に焼き付いたようでした。

華麗なデビューが、今後様々な競技での活躍を予感させるランサーエボリューション。実際、'93年シーズンからは同車をベースに開発中のグループAラリー仕様車でWRCに参戦し、ケネス・エリクソンとアーミン・シュワルツをドライバーに擁する「ラリーアート・ヨーロッパ」と篠塚建次郎をドライバーに擁する「ラリーアート・ジャパン」の2チーム体制で挑むことが、既に決定しています。



## 会員の皆様の よりいっそうのご活躍を

あけましておめでとうございます

CMSCが発足して既に30年余。その間、モータースポーツを愛する者達の集まりとして順調に発展し続けて参りました。既に、全国に16支部6,000余名のメンバーを擁する大組織となったいま。会員の皆様には、今後もCMSC会員であるというプライドを大切にいただきたいと思いますと同時に、これまで会

の発展をずっと支え続けて下さいましたことを、いままさらながら厚く感謝致したいと存じます。

さて、会員の方々にとって、昨年はどう的一年でしたでしょうか。年頭にあたりまして、皆様それぞれに昨年を振り返って感じる事、新しい年に対する期待や希望など、様々な思いがあたりだと想像致します。わがCMSCにとりましては、'92年はなかなか充実した一年であったのではないのでしょうか。夏の全国大会には、全国から総勢約200名が集まり、恒例のジムカーナや懇親パーティなどを通じて

互いに交流を深めました。また、各種競技会等ではクラブ員の活躍ぶりと、上位入賞の嬉しい知らせが続々と聞こえてきました。各支部で行われる。主催大会は、一般参加者が増えて年々盛大になってきていますし、着実にモータースポーツの普及に貢献し続けていると自負しております。

最後になりましたが、会員の皆様がさらにいっそうご活躍されることを、あらためてお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

(CMSC会長 外川一雄)

## ランサーエボリューションがくれた栄冠

'92全日本ダートトライアル選手権 第8戦参戦記  
CMSC群馬 荒井信介

さる11月14、15日、オールスターダートトライアル'92 in HiRoShiMaが行われました。両日共まずまずのダート日和。会場には数千人の観客が押し寄せて。ダートラ観戦を楽しんでいるようでした。

私は、AIVクラスに出場。ゼッケン102番をつけ、ランサーエボリューションでは初めて、全日本戦に挑んだのです。タイムは、ギャランと同等以上は出せると思っていたのですが、まだ足回りがよく決まっていなかったりや乗り慣れていないことなどから不安

な気持ちを隠せないまま、パワー全開で行くしかない自分自身に言い聞かせて臨みました。1トライめ、ギャラン、バルサー、インプレッサ、ランサー等、1分58秒前後のタイムで競技は進行。私はコースを頭の中にたたき込み、後は踏むだけ、とスタートしました。思ったより前にで、その勢いのまま各コーナーをどうにかクリア、最終コーナーをサイドターンでゴール結果は1分55秒07と、他を1秒以上も引きはなす好タイムとなりました。

翌15日の2トライめ、私は、1本めよりミスは少なくすればタイムは上がるはずだと、ランサーで懸命にふんばりました。少しとはいえタイムは上がり、

私は、2日間共に一位をキープ。本当に嬉しいオールスター初優勝となりました。ラリーアート、ヨコハマタイヤ、KYB、キャロッセ、群馬三菱など、スポンサー各位のご協力もいただいたことで、ランサーエボリューションのデビュー・ウィンを飾ることができ、シリーズも3位に上昇し、シード権も獲得でき、本当に感謝致しております。

来年も、ランサーエボリューションで全日本戦を頑張りますので、応援の方よろしくお願ひします。



感激の初優勝。荒井信介選手

## 悔いを残さない走りに徹してベストラップ

オールスターダートトライアル参戦記  
CMSC群馬 大井 こそる

「オールスターダートトライアル」この大会に出場するために1年間戦ってきた。プレッシャーやマシントラブル……そんな中でやっと手にした関東代表だった決して簡単に得られた出場権ではない。たかが「レディスクラス」かも知れないが、私にとってオールスターはやはり憧れであり、夢であり、目標でもある。今年で4度目のオールスター出場であるが、昨年の悔しい思いだけは絶対にするまいと思ひ、ミスを恐れず自分の持てる力をすべて出し切るドライビングをしよう決めていった。

1本めこれから走るコースを思い浮かべながら、「大丈夫、私はできる。悔いだけは残さない」と自分自身に言い聞かせる。1トライスタート。コース

前半は満足のいく走りだったが、後半は狭い林道セクションでスピンしてしまった。幸い車へのダメージは少なかった。とりあえずの走りでも何とかゴール。それでもタイムは、ライバルたちのミスも手伝ってひとまずベストラップそれを聞いて少し変な感じになり、余計プレッシャーが強くなった。

1日おいての2トライめは、朝8時からの出走。スタートフラッグが振られたが、体が固くなって、思ったようにコーナリングできない。林道セクションにさしかかると、昨日のスピンした記憶が一瞬頭をよぎった。が、乗り慣れたギャランはわきあがる恐怖心をカバーしてくれ、私の思うように走ってくれた。おかげでタイムはベストラップ。嬉しかった。今年1年の苦労はすべてこの瞬間の為だったと思うと、本当に嬉しかった。みんなもよろこんでくれている。ギャランに最後の金メダルをあげるこ

とができて本当に良かった。オールスターダートトライアルという大舞台で、自分は少しだけ他のドライバーよりもリラックスして走れたのだと思う。

今まで、私を支えてきてくれたたくさんの人たちのお陰で自分はここまでくることができたのだと、いつも思っている。感謝の念をずっと大切にしながら、来シーズンからは新しくランサーに乗り換え、また新たな気持ちで頑張って走り続けていきたい。

一年分の一瞬が輝いた大井こそる選手



## 反省点を謙虚に受け止め、今後に備えたい

'92オールスターダートトライアル参戦記  
CMSC山形 菅野 茂

'92オールスターダートトライアルが、広島市のテクニックステージカタで開催されました。実はオールスター出場が決まってから、乗り慣れたギャランにするか、2台ランサーRSにするかで随分悩みました。当クラブの小川会長には、ランサーRSは足回りなどまだ(CD5 A用しか)出していないため、ギャランで行くように言われましたが私としては初めてのオールスターなので新型車で行きたいと思ひ、無理に頼み込んでランサーRSに決めました。それからが

大変で、ローラー、スプリング(CD5 A用)を早急に組み、車検を終えたのが11月6日、この後全ての部品を組み終えたのが9日で、練習もほとんどしないままに当日を迎えてしまいました。

今回は、1本めが14日、2本めが15日というちょっと変則的なイベントで、やはり不慣れなせいか、1本めは失敗(リアバンパー墜落)もありました。それでも何とかまずまずのタイムで終え、翌15日、2本めの走行を行いました。ところが、走り方が1本めとまるっきり違ってしまう、タイムアップすることができなかったのです。(1本めが強オーバーステアだったので、2本めはリアタイヤを新品にし、ア

プローチを一呼吸手前とで考えていましたが、緊張感からイメージ通りの走りが出来ませんでした。)結果として悔いの残る試合になってしまいましたが、今回の反省点は、今後にしっかり活かしていきます。



残念。次回の巻返しを誓う菅野茂選手